

急性心不全に対する予後因子を検討する 後向き観察研究

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2019 年 2 月 12 日から 2020 年 12 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

先進国での心不全患者は増加の一途をたどっており、心不全入院は 1 年に何度も入院するなど医療費のかかる入院の一つとなっています。

Reality-AHF レジストリ、ATTEND レジストリなど、心不全患者に関する多施設でのレジストリ（登録研究）がこれまでに存在し、心不全入院における影響を与えるリスク因子については解析がなされていますが、未だ不明な部分も多く存在します。

今回は当院での実臨床における入院を要する急性非代償性心不全患者の予後に影響を与える因子を検討します。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2015 年 1 月から 2015 年 12 月の間に、急性非代償性心不全により入院を必要とした患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、身長、体重、既往歴、服薬歴、身体所見、血液検査・心電図・心エコーなどの検査結果、治療に関する情報、治療後の状況に関する情報などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・磯谷 彰宏の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 循環器内科 担当者 伊藤 慎八
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）